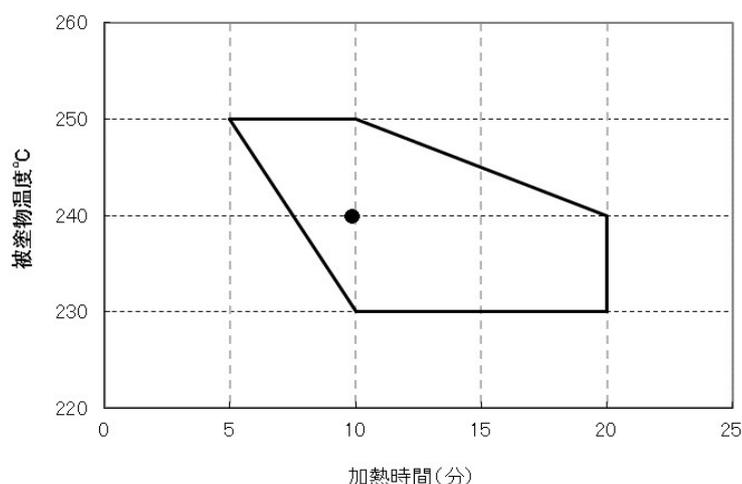


製品説明書	[製品名] ガーメットDC100
-------	------------------



塗料の分類	低汚染形フッ化ビニリデン樹脂塗料								
特徴	<p>①ガーメット1000の性能はそのままに、セルフクリーニング性を付与したふっ素樹脂塗料です。</p> <p>②早期から低汚染機能を発揮します。</p> <p>③一般グレードの「ガーメット1000」と同等の耐候性を有します。</p> <p>④塗装作業性が良好で、エアースプレー・静電塗装でご使用可能です。</p>								
色相	ソリッドカラー メタリックカラー								
荷姿	<table> <tr> <td>ガーメットDC100各色</td> <td>1.6 kg</td> </tr> <tr> <td>ガーメット1000SFメタリック各色</td> <td>1.6 kg</td> </tr> <tr> <td>ガーメットDC100クリヤー</td> <td>1.6 kg</td> </tr> <tr> <td>ガーメットDC100HP</td> <td>0.4 kg</td> </tr> </table>	ガーメットDC100各色	1.6 kg	ガーメット1000SFメタリック各色	1.6 kg	ガーメットDC100クリヤー	1.6 kg	ガーメットDC100HP	0.4 kg
ガーメットDC100各色	1.6 kg								
ガーメット1000SFメタリック各色	1.6 kg								
ガーメットDC100クリヤー	1.6 kg								
ガーメットDC100HP	0.4 kg								
使用方法	<p>①混合方法 ガーメットDC100は2パックになっており、使用時に塗料に添付します添加剤「ガーメットDC100HP」を塗料：添加剤＝40：1で混合し良く攪拌後粘度調整し使用下さい。</p> <p>②可使用時間 「ガーメットDC100HP」混合後3日以内にご使用下さい。</p>								
加熱条件	<p>加熱条件 230～250℃×10分（素材の温度と保持時間による） *加熱時には、被塗物を5分以内に180℃以上まで昇温させて下さい</p>								



## 塗装仕様例

## &lt;ソリッドカラー&gt;

工程	塗料名	色相	塗膜厚さ	加熱条件
素地調整	アルミニウム合金；クロメート処理			
下塗り	ガ-メットプライマー NC	ホワイト グレー	5~ 15 $\mu$ m	インターバル 10~20分
上塗り	ガ-メット DC100 (*)	指定色	25~ 40 $\mu$ m	セッティング 10~20分 240 $\pm$ 10 $^{\circ}$ C $\times$ 10分

\*ガ-メット DC100：ガ-メット DC100HP=40:1 で混合

## &lt;メタリックカラー&gt;

工程	塗料名	色相	塗膜厚さ	加熱条件
素地調整	アルミニウム合金；クロメート処理			
下塗り	ガ-メットプライマー NC	ホワイト グレー	5~ 15 $\mu$ m	インターバル 10~20分
上塗り 1	ガ-メット 1000SF メタリック	指定 メタリック	25~ 40 $\mu$ m	セッティング 10~20分 240 $\pm$ 10 $^{\circ}$ C $\times$ 10分
上塗り 2	ガ-メット DC100 (**)	クリアー	10~ 20 $\mu$ m	セッティング 10~20分 240 $\pm$ 10 $^{\circ}$ C $\times$ 10分

\*\*ガ-メット DC100 クリアー：ガ-メット DC100HP=40:1 で混合

## 塗膜性能

項目	結果	試験方法
付着性	100/100	1mm基盤目付着性
接触角	80 $^{\circ}$ 40 $^{\circ}$	初期 水 1日浸漬後
光沢値	38グロス	60度鏡面光沢
耐衝撃性	異常なし	1/2in $\times$ 500g $\times$ 50cm
基盤目エリクセン	異常なし	1mm基盤目後エリクセン5mm押し出し
耐沸騰水性	異常なし	沸騰水 8時間浸漬
促進耐候性 GR%	95%	サンシャインウエザ-メーター 5000時間
$\Delta$ E	0.5	

塗装上の  
注意事項

- 1) 素材
  - ・ 基材表面の油汚れや不純物等は完全に除去して下さい。
  - ・ 基材の種類や履歴により良好な付着力を得ることができない場合があります。事前に目的の基材を用いて、ユーザーラインにおいて、塗装性・付着性をご確認下さい。
- 2) シンナー
  - ・ 専用シンナー以外のシンナー使用により、塗膜外観不良や塗装機のトラブルを発生する可能性があります。塗料の希釈や塗装機の洗浄には専用シンナーをご使用下さい。
- 3) 再塗装
  - ・ ゴミ・キズ等により再塗装が必要な場合は、必ず研磨を施して下さい。